

記録

研究・教育活動業績

凡例＝本記録は研究員による研究・教育活動の業績一覧であり、研究員の投稿にもとづくものである。1. 著書・訳書、2. 論文、3. 学会発表、4. 講演・展覧会・ワークショップ等、5. その他。

松田隆美（所長 研究員 文学部教授）

1. 著書・訳書等

松田隆美編『書物の来歴、読者の役割』慶應義塾大学出版会、2013年10月。pp. iv + 193 + 63（「エリザベス1世の侍女の時禱書—「フィトン時禱書」の特色と来歴」pp. 99-131、「前言」pp. i-iv 執筆。

2. 論文

松田隆美「中世ヨーロッパは超自然をどうとらえたか—12世紀イングランドの死後世界とヴィジョン—」『藝文研究』第104号(2013), 112-125

松田隆美「イタリアをめぐるガイドブックの旅—15～19世紀のイギリス人向けイタリア旅行案内—」『イタリア図書』Nuova Serie 49(2013.10), 2-19

3. 学会発表

松田隆美「Manciple's Tale と忘却」日本英文学会第85回大会。2013年5月26日。東北大学。

松田隆美「15世紀イングランド文学におけるイメージの功罪」日本中世英語英文学会第29回全国大会 シンポジウム「15世紀イングランド文学の革新と継承」（司会及び講師）。2013年12月1日。愛知学院大学。

4. その他

「[座談会] 中世における記憶と忘却」『西洋美術研究』17(2013), 8-28 [赤江雄一、小池寿子、松田隆美、木俣元一、中村俊春（司会）]

斎藤英雄（副所長 研究員 理工学部教授）

1. 著書・訳書等

B. リー（石川尋代、斎藤英雄訳）「究極の立体映像をめざして：3次元ディスプレイ、その過去と現在」パリティ、Vol.28, No.11, pp.14-pp.21, 丸善出版株式会社, (2013年11月)

2. 論文

池田 拓也, 小山田 雄仁, 杉本 麻樹, 斎藤 英雄「RGB-D カメラから得られる部分物体形状と影に基づく光源推定」映像情報メディア学会誌, Vol. 67, No. 4, p. J124-J133, 2013年4月

Sandy Martedi, Maki Sugimoto, Hideo Saito, Bruce Thomas "Feature-based Alignment Method for Projecting Virtual Content on a Movable Paper Map" IEEJ Trans. on Electronics, Information, and Systems, Vol. 133, No. 3, pp.672-679, Mar. 2013

Dissaphong Thachasongtham, Takumi Yoshida, Francois de Sorbier and Hideo Saito "3D Object Pose Estimation using Viewpoint Generative Learning" Lecture Notes in Computer Science 7944, pp. 512-521, 2013

3. 学会発表

Takuya Ikeda, Francois de Sorbier, Hideo Saito "Real Time Relighting for an Arbitrary Shaped Object using an RGB-D Camera" International Symposium on Mixed and Augmented Reality (ISMAR 2013), Oct.2013

Sandy Martedi, Bruce Thomas, Hideo Saito "Region-based tracking using sequences of relevance measures" International Symposium on Mixed and Augmented Reality (ISMAR 2013), Oct.2013

本田俊博, フランソワ ドゥ ソルビエ, 斎藤英雄「環境3DモデルのRGB-Dカメラによるリアルタイム取得に基づくスマートフォンによる拡張現実表示システム」第19回画像センシングシンポジウム, 2013

本田俊博, フランソワ ドゥ ソルビエ, 斎藤英雄「RGB-Dカメラを用いて取得した環境3Dモデルに基づくスマートフォンによる拡張現実表示システム」第18回日本バーチャルリアリティ学会大会, 2013年9月

池田 拓也, フランソワ ドゥ ソルビエ, 斎藤 英雄「形状変化する任意物体の実時間ライティング」第18回日本バーチャルリアリティ学会大会, 2013年9月

安藤広道 (研究員 文学部教授)

2. 論文

「南関東地方における弥生時代後期の超大型集落遺跡」
『弥生時代政治社会構造論—柳田康雄古稀記念論文集—』
雄山閣出版 259-273 頁

「弥生時代集落遺跡の分析方法をめぐる一考察」『横浜市
歴史博物館紀要』第 17 号 横浜市歴史博物館 81-95
頁

「大倉精神文化研究所内遺跡 (太尾遺跡) 出土土器につ
いての補遺」『横浜市歴史博物館紀要』第 17 号 横浜市
歴史博物館 108-113 頁

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

展覧会「慶應義塾大学所蔵資料展 三陸海岸の縄文文化
—暮らしを支えた技・海・祈—」港区立港郷土資料館
開催期間 1 月 5 日～2 月 18 日 監修

ワークショップ「実験授業日吉学 きみは日吉を知って
いるか? 探検! 発見! (1) 日吉台地下壕」11 月 2 日
慶應義塾大学教養研究センター

小菅隼人 (研究員 理工学部教授)

2. 論文

拡張する舞踏の身体: 「土の土方と水滴の時間」の実践
についての再考察 藝術観点 56, 146-155 国立臺南
藝術大学 2013/10/01 (日本語論文の中国語訳. 訳者:
林暉鈞. (原題) 拡張する舞踏の身体: 「土の土方と水滴
の時間」の実践についての再考察)

Transformed and Mediated Butoh Body: Corpus Moriens
in "Hijikata's Earthen Statue Project"

日吉紀要: 英語英米文学 [62] 51-73

慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会 2013/03/29

3. 学会発表

拡張する舞踏の身体: 「土の土方と水滴の時間」の実践
についての再考察 《肉体の叛乱から形成まで: 2013
日台身体美学フォーラム》 VanBody Theatre Company
2013/10/12

Butoh Beyond Theatres: Ohno Kazuo on the University
Campus FIRT/IFTR International Federation for

Theatre Research Annual Conference Barcelona 2013,
Spain FIRT and Institut del Teatre 2013/07/24

Praxis session. Butoh Beyond Theatres: Temporality,
Education, Community 19th PSi conference PSi and
Stanford University 2013/06/28

金子晋丈 (研究員 理工学部専任講師)

2. 論文

寺田 雅徳, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “ストーリーミングアプ
リケーションのトラフィック特性と周期的切断が与える
影響の解析”, 研究報告モバイルコンピューティングと
ユビキタス通信 (MBL) Vol. 2013-MBL-66, No. 28, pp.
1-6, 2013 年 5 月 .

須賀 祐太朗, 寺岡 文男, 金子 晋丈, “高帯域ストーリーミ
ング配信のためのスイッチ内レイテンシの計測”, 信学技
報, vol. 113, no. 4, NS2013-3, pp. 13-17, 2013 年 4 月 .

関口 貴久, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “センサネットワーク
におけるマルチドメイン環境を考慮したネットワーク
アクセス認証の実装と評価” 信学技報, vol. 113, no. 38,
ASN2013-38, pp. 253-258, 2013 年 5 月 .

Kazuma Yonemura, Kunitake Kaneko, and Fumio
Teraoka, “CLINEX: An Inter-node Cross-Layer
Cooperation Architecture to Adapt to Dynamically
Changing Network Situation,” In Proceedings of the
2013 IEEE 37th Annual Computer Software and
Applications Conference (COMPSAC '13), pp. 33-42,
Washington, DC, USA, 2013 年 7 月 .

井手 幹, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “ZNA におけるセッショ
ン層プロトコルの改善とカーネルへの実装”, ソフトウェ
ア科学会 第 14 回インターネットテクノロジーワー
クショップ, 2013 年 6 月 .

清水 倫人, 寺岡 文男, 金子 晋丈, “パケット単位での冗
長経路利用方式の設計と実装”, 電子情報通信学会ソサイ
エティ大会, B-7-40, 2013 年 9 月 .

Takao Kondo, Heryanto, Komei Shimamura, Kunitake
Kaneko, Teraoka Fumio, “Design of Information Centric
Networking on Clean-slate Layered Architecture” 信学技
報, vol. 113, no. 240, IA2013-28, pp. 13-18, 2013 年 10 月 .

小林 佑樹, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “ID/Locator 分離ネットワークアーキテクチャにおける匿名性の向上”, 信学技報, vol. 113, no. 364, IA2013-57, pp. 1-6, 2013年12月.

Daisuke Ando, Masahiko Kitamura, Fumio Teraoka, Kunitake Kaneko, "Content Espresso: A System for Large File Sharing Using Globally Dispersed Storage," In Proceedings of the 2013 IEEE 5th International Conference on Cloud Computing Technology and Science (CloudCom), vol.2, no.1, pp.337-340, Dec. 2013.

厚谷 有輝, 金子 晋丈, 寺岡 文男, “ヤマタノオロチ：インターネットサービスのための認証認可基盤”, 情報処理学会論文誌 Vol. 55, Num. 2, pp. 849-864. 2014年02月.

山岸 拓郎, 宮下 山斗, 寺岡 文男, 金子 晋丈, “Catalogueを用いたOSのディレクトリ構造の保存”, 電子情報通信学会総合大会D-6-12, 2014年3月.

3. 学会発表

金子晋丈, “デジタルシネマとDCI規格認証の最新動向”, DCCJシンポジウム, 東京, 2013年5月22日

金子晋丈, “次世代型メディアサービスとネットワークシステム”, テクノトランスファー川崎, 川崎, 2013年7月12日

金子晋丈, “次世代メディアサービスの実現”, KLL産学連携セミナー, 横浜, 2013年7月19日

金子晋丈, “Catalogを使った即時性のある映像編集・配信システム”, CineGrid@TiFF 2013, 東京, 2013年10月21日.

Kunitake Kaneko and Yamagishi Takuro, "Media Applications of Catalogue and Content Espresso", 8th Annual CINEGRID International Workshop 2013, San Diego, USA, 2013年12月11日.

Kunitake Kaneko and Rinto Shimizu, "Next Generation Media Platform with Order Insensitive Flow Routers", 13th Annual ON*VECTOR Photonics Workshop, San Diego, USA, 2014年3月6日.

金子晋丈, “メディアネットワークの未来”, WIDE 合宿招待講演, 浜松, 2014年03月10日.

金子晋丈, “動的複製再配置を必要としない大容量コンテンツ配信基盤の開発”, ネットワークアプリケーション技術に関するシンポジウム, 東京, 2014年3月13日.

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

Kunitake Kaneko, Hiroyo Ishikawa, “Trial of “MoSaIC”: Museum of Shared and Interactive Cataloguing,” Nordic Digital Excellence in Museums Conferences 2013, 2013年12月3日.

寺岡文男, 金子晋丈, “ZINK: ZNA Information Centric Networking”, 第14回慶應科学技術展, 東京, 2013年12月13日.

金子晋丈, 寺岡文男, “高速なネットワーク経路切り替え技術”, 第14回慶應科学技術展, 東京, 2013年12月13日.

金子晋丈, 寺岡文男, “ビッグデータストレージ”, 第14回慶應科学技術展, 東京, 2013年12月13日.

石川尋代 (研究員 DMC 研究センター特任助教)

1. 著書・訳書等

B. リー (石川尋代, 齋藤英雄訳) 「究極の立体映像をめざして: 3次元ディスプレイ, その過去と現在」パリティ, Vol.28, No.11, pp.14-pp.21, 丸善出版株式会社, (2013年11月)

3. 学会発表

宮下山斗, 石川尋代, 寺岡 文男, 金子晋丈 「多様な視点の共有を可能にする自律分散型コンテンツ参照方式」2013 データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2013), pp.B5-6, (2013).

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

Hiroyo Ishikawa and Kunitake Kaneko, Trial of “MoSaIC”: Museum of Shared and Interactive Cataloguing, NODEM 2013